



きよかわむら 社協だより

2017
11
No.195



皆さんの笑顔を宝物に

～宮ヶ瀬小学校
デイサービス訪問～

10月18日、宮ヶ瀬小学校
全校児童11人が村保健福祉
センターひまわり館へ来館し、
合唱と合奏を発表しました。

これは、デイサービスの利用
者に自分達の発表を披露し、自
分達の活動が人々の喜びに繋
がっていることに気づくこと
を目的に同校が毎年実施して
いるもの。この日の演目は『外
国の音楽メドレー～海外旅行
にご招待～』で、曲に合わせて
衣装を替えたり、曲の合間に短
い劇を交えたりと、利用者が楽
しめるよう趣向を凝らしてい
ました。

利用者は「上手だね」「感激
して涙が出そうになった」と笑
顔を見せ、発表を終えた白石さ
くらさん(6年生)からは、「毎
年感じていることですが、皆さ
んが楽しんでくださる様子が
わかり、私たちも楽しく発表が
出来ます。皆さんからいただい
た笑顔を私たちの宝物にしま
いと思います」と、心のこもっ
たあいさつがありました。

11月号 おもな内容

- | | | | |
|-----------------------------|----|---------------------------------|----|
| ●特集 11月11日は『介護の日』 | 2P | ●清川幼稚園、デイサービス利用者を
招待してのミニ運動会 | 3P |
| ●交流スペース清川四葉亭 | 3P | ●年末たすけあい運動が始まります | 4P |
| ●災害ボランティアセンター
運営スタッフ養成講座 | 3P | 募金期間：11月中旬～12月上旬 | |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

特集

**いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう
11月11日は『介護の日』**

厚生労働省は、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施する日として、11月11日を『介護の日』と設定しました。今回は、神奈川県内で行われるイベントを紹介します。

介護の仕事の魅力を発信 介護フェア in かながわ

日時 平成29年11月5日（日）午前11時30分～午後5時00分
会場 新都市ホール（そごう横浜店9階）
内容 タイムスケジュール

時間	ステージイベント	展示ゾーン	体験コーナー
11:30～11:40	開会	介護福祉就職・資格取得・相談コーナー 介護ロボット・福祉機器展示・実演コーナー	お年寄りに変身体験 無料健康測定 介護カフェ
11:45～12:45	かながわベスト介護セレクト20・かながわ感動介護大賞表彰式		
13:00～14:20	基調講演：城戸真亜子さん 「心をつなぐ介護日記～認知症の母の介護を通じて～」		
14:30～15:00	見てみませんか、高校生の介護		
15:10～16:10	若手介護職員のトークショー 「介護の未来 語らない？」司会：小谷あゆみさん		
16:15～17:00	健康講座：講師 藤原佳典先生 東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム研究部長 「今日から始める認知症予防」		

さがみはら 介護の日大会 みんなで支えよう 明日のさがみはらの介護

日時 平成29年11月18日（土）午前10時00分～午後4時00分
会場 あじさい会館 1階ホール、6階展示室
内容 タイムスケジュール

会場	時間	内容
6階 展示室	10:00～16:00	高齢者支援センター介護・福祉相談コーナー
		最新福祉機器・介護食品展示紹介・スタンプラリー
1階 ホール	10:30～11:45	研究発表
	13:00～	開会式 次代を担う介護職員等勤続表彰式
	13:30～	介護の日記念講演会「介護は笑い」定員300人（先着順） 三遊亭王楽師匠、鈴々舎馬るこ師匠
	14:30～	介護に笑顔はよく似合う写真展上映 共和中学校合唱部コラボ 写真の表彰式
	15:00～	閉会式

『介護』は、直接関連していないとなかなか関心を持つことはないと思います。しかし、いつかは誰もが介護をする側になったり、される側になります。誰にでも起こりうる介護について、みんなで考えていくことが大切だと思います。この『介護の日』を機に、多くの皆さんが介護について関心を持っていただき、介護をもっと身近に感じていただければと思います。

自由なルールで精神障害者が交流

交流スペース清川四葉亭

精神障害者に気軽に集まってもらい交流してもらおうと、村では毎月第4火曜日(原則)の午後1時から午後4時45分まで、村せせらぎ館で「交流スペース清川四葉亭」を開催しています。この清川四葉亭は参加者だけではなく、村が障害者相談支援事業を委託しているNPO法人ハートラインあゆみの相談員、ピアサポーターの通称「多楽^{たらく}」さんも一緒に加わり運営しています。9月26日に開催した清川四葉亭では、サッカーの雑誌を基にヨーロッパ等世界のサッカー選手の話題で盛り上がっている参加者もいれば、一人で黙々とゲームをやっている参加者もいました。『やることは自由。出入りも自由』なのが特徴です。ピアサポーターの多楽^{たらく}さんは、「当事者にとって安らぐ居場所があるのは心の安心につながると思います。これから少しでもお役に立てれば」と話していました。



被災地のニーズは刻々と変化

災害ボランティアセンター

運営スタッフ養成講座

大規模災害発生時に立ち上げられる災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティア養成講座が9月21日、10月10日の2日間に渡り村保健福祉センターやまびこ館で行われ、5人が参加しました。村社協の主催で今回で3回目。



2日目の10月10日は、昨年4月に発生した熊本地震の際に立ち上げられた『西原村災害ボランティアセンター』で活動された社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員の梅津氏が現地での体験を報告。「被災地のニーズは刻々と変化するので迅速な対応が重要」「被災者宅を訪問する際は相手の気持ちに寄り添って」など、自身が携わった『マッチング・ニーズ班』の要点を解説されました。参加者は「災害ボランティアセンターの内容が具体的にわかった」と話していました。

ミニ運動会を堪能しました

清川幼稚園、デイサービス利用者

招待してのミニ運動会

運動会で行った競技の一部をデイサービスの利用者に披露し楽しんでもらおうと、清川幼稚園の園庭で10月11日、清川幼稚園のミニ運動会が行われました。

これは、運動会を実際に観る機会から遠ざかってしまっているデイサービスの利用者に、園児の頑張っている様子を間近で観て、運動会の雰囲気を感じてもらおうと、社協と幼稚園で企画し、3年前から実現しているものです。

当日は曇り空ながら、園児のかわいい踊りから始まり、徒競走やリレー、さくら組(年長)の竹馬乗りまで、利用者の笑顔が途切れることなくミニ運動会が行われました。元気な姿で一生涯競技に取り組む園児たちに利用者は「間近で運動会が観れて良かった」「運動会はやっぱり楽しいね」と喜んでいました。



年末たすけあい運動が始まります

【募金期間：11月中旬～12月上旬】

共同募金運動の一環である「年末たすけあい運動」は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉活動を重点的に展開する募金運動です。今年度も自治会を通じて募金活動を行います。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



年末たすけあい募金の使いみち

①ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、支援の必要な世帯への配分

生活支援や激励を目的に、社協が開催する配分会議にて配分決定された世帯に対して、おせち料理の宅配や庭木の剪定など生活支援に関するサービスを選んでいただき、年内に実施します。

②障害者への配分

身体、知的、精神障害をお持ちの方を対象にクリスマス会（カラオケ等）を開催します。

【日時】 平成29年12月3日（日） 午前11時から午後2時頃まで

【場所】 清川村近隣のカラオケボックスを予定しています

【内容】 カラオケ、食事等

【対象】 身体障害者手帳（1級～4級）、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方及びご家族

【参加費】 無料（付添者1人までは無料です）

【申込み】 平成29年11月24日（金）まで ※送迎要相談

【申込み、問い合わせ先】 清川村社協 担当：山口 ☎046-287-1118

③ひとり親世帯への配分

激励を目的に、平成29年度の児童扶養手当を受給しており、配分申請のあった世帯に対して下記の金額を年内に民生委員・児童委員を通じて配分します。

【配分対象】 平成29年度児童扶養手当受給世帯

【配分内容】 1世帯につき、8,000円 ※子2人目以降1名につき、2,000円を加算

【申請方法】 社協の窓口か郵便のいずれかの方法で申請してください。なお、申請いただいた内容の情報は、お住まいの地区の民生委員・児童委員並びに主任児童委員へ提供しますのでご了承ください。なお、申請の際には、「平成29年度児童扶養手当証書」の写しを添付いただきます。

寄付をありがとうございます

平成29年9月～平成29年10月

○昭和17年国民学校卒業生代表 岩澤安夫様
23,000円

回収にご協力ありがとうございます

平成29年9月～平成29年10月

○ペットボトルキャップ 9件
○古切手 3件

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

はあじ
しおーむ
日本は、4人に1人が
高齢者という社会にな
り、介護は既に国だけ
はなく地域の問題にも
展しています。2ペー
ジで『介護の日』を紹
介しましたが、現在介
護に直接関係無い方
にも、地域の問題、
将来の自身の問題
として考えていただ
く機会になればと思
います。